

令和2年 第10回金沢市教育委員会定例会議

1 日 時：令和2年10月21日（水） 13時30分～15時00分（予定）

2 場 所：金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 審議等

頁

議案第29号	令和3年度 金沢市立小・中学校における教育課程編成・実施の基本方針（案）について	(学校指導課)・・・1
議案第30号	金沢市図書館の図書等特別整理期間の変更について	(図書館総務課)・・・5
報告第29号	令和3年度金沢市立工業高等学校全日制の課程第1学年入学者募集要項について	(市立工業高等学校事務局)・・・7
報告第30号	「市民大学オンライン講座」の開講について	(生涯学習課)・・・16
報告第31号	金沢こども衛星アイデアコンテスト、宇宙絵画作品コンテストについて	(生涯学習課)・・・18
報告第32号	「ジュニアかなざわ検定 チャレンジ@ほーむ」の実施結果について	(生涯学習課)・・・20
報告第33号	出張図書館モデル事業の実施について	(図書館総務課)・・・22

その他

(1) 次回の定例会議の日程について

令和3年度 金沢市立小・中学校における教育課程編成・実施の
基本方針（案）について

令和2年10月21日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和3年度 金沢市立小・中学校における教育課程編成・実施の基本方針 [概要]

I 教育課程編成の基本的な考え方

1 金沢ベーシックカリキュラムに基づく特色ある教育課程の編成

- (1) 特色ある教育課程の編成
- (2) 中学校区の実態に応じた教育課程の編成
- (3) 道徳教育の指導計画作成と教育課程の編成（「特別の教科 道徳」含む）
- (4) 人権教育の指導計画作成と教育課程の編成
- (5) 健康教育の指導計画作成と教育課程の編成

2 金沢ふるさと学習の推進

- (1) 教育課程上の位置付け
- (2) 学校の実情や地域の実態に応じた教育課程の編成
- (3) 身に付けさせたい資質・能力及び態度を育成するための教育課程の充実
- (4) 「金沢SDGs」の視点での教育課程の充実

3 金沢「絆」活動の推進

- (1) 金沢「絆」プロジェクトに係る教育課程の編成
- (2) 金沢「絆」の日に係る教育課程の編成

4 特別支援学級、通級指導教室における教育課程の編成

- (1) 一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程の編成
- (2) 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を生かした教育課程の編成
- (3) 「特別の教科 道徳」の教育課程の編成
- (4) 「自立活動」の教育課程の編成

5 信頼される学校づくりに向けた教育課程の編成

- (1) 保護者・地域住民の理解を深めることを意識した教育課程の編成
- (2) 学校評価を生かした教育課程の改善
- (3) 保護者・地域住民と連携した教育課程の編成
- (4) 地域の人材や施設、近隣の教育機関等との連携を意識した教育課程の編成

II 教育課程実施の基本的な考え方

1 教育課程実施における量的な把握と質的な把握

- (1) 教育課程実施状況の量的な把握
- (2) 教育課程実施状況の質的な把握

2 各学校における特色ある教育課程の実施

- (1) 学力調査や体力・運動能力調査の結果を生かした教育課程の実施
- (2) 「特色ある学習内容」の実施と次年度への反映

3 特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育課程の実施

- (1) 特別支援学級に在籍する児童生徒、通級による指導を受けている児童生徒の実態に合った教育課程の実施と次年度への反映
- (2) 通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対する段階的な教育課程の実施

4 信頼される学校づくりに向けた教育課程の実施

- (1) 学校評価結果を生かした教育課程の実施と見直し
- (2) 保護者や地域住民への学校評価結果の公表

III 教育課程編成・実施の留意事項

1 指導計画の内容

- (1) 小学校において編成する教育課程
- (2) 中学校において編成する教育課程
- (3) 各学校の教育課程に位置付ける指導計画
 - ①道徳教育
 - ②人権教育
 - ③健康教育

2 教育課程の編成・実施に向けた各担当者の役割

- (1) 主幹教諭・教務主任の役割
- (2) 研究主任（学力向上担当者）の役割
- (3) 生徒指導主事の役割
- (4) 進路指導主事等の役割
- (5) 保健主事等の役割
- (6) 道徳教育推進教師の役割
- (7) 人権教育担当者の役割
- (8) 各種教育担当者の役割

3 特別な支援を必要とする児童生徒の教育課程の編成・実施に向けた各担当者の役割

- (1) 特別支援教育コーディネーターの役割
- (2) 特別支援学級担当者の役割
- (3) 通級指導教室担当者の役割

4 教育課程実施状況の把握と改善

- (1) 各種調査による教育課程実施状況の把握と改善
- (2) 学校評価による教育課程実施状況の把握と改善

5 教育課程編成・実施に向けて留意すべき内容・授業時数等

- (1) 小・中学校の標準授業時数
- (2) 年間授業時数の1単位時間
- (3) 標準授業時数を上回る指導時間の確保に向けた休業日における授業の実施
- (4) 土曜授業及び週休日を活用した授業を実施する際の留意点
- (5) 長期休業日を活用した授業を実施する際の留意点
- (6) 学級担任・教科担当者等による教育課程実施状況の点検・評価
- (7) 総合的な学習の時間の留意点
- (8) 金沢ふるさと学習の授業時数
- (9) 小学校英語活動・英語科ショートタイムにおける授業時数と指導内容の記載
- (10) 情報活用能力を育成するための教育課程の編成
- (11) まとめや習熟の時間、定着が不十分な単元等への十分な時数配当
- (12) 主な学習内容を変更する場合の留意点
- (13) 小学校プログラミング教育の実施
- (14) 特別活動における「キャリア・パスポート」の活用

6 特別支援学級の教育課程編成・実施に向けて留意すべき内容・授業時数等

- (1) 教科・領域のバランスや豊かな経験・学習を考慮した教育課程の編成
- (2) 児童生徒の発達段階や生活年齢を考慮した教育課程の編成
- (3) 欠席・早退時等の教育課程における実施時数の取扱い
- (4) 特別支援学級における指導時数と交流学級における指導時数の把握
- (5) 「学級活動」の指導
- (6) 「特別の教科 道徳」の指導及び教育課程への記載

7 GIGAスクール構想に基づく教育課程の実施に向けて留意すべき内容

- (1) すべての学習活動における学習用端末等の積極的な活用
- (2) 各教科の特質やICTの利点等を踏まえた活用
- (3) 「ICT版金沢型学習スタイル」に基づいた授業の実践

IV 新型コロナウイルス感染症対策と学びの保障の両立に向けての留意事項

1 児童生徒の「学びの保障」のための教育活動

- (1) 学校の実情に応じたオンライン授業の実現
- (2) 臨時休業を想定した速やかな学びの再開準備
- (3) あらゆる手段を活用した学習内容の履修と学力の定着
- (4) 感染症対策を講じた学校ならではの学びの確保

2 各教科等の指導における感染症対策

- (1) 各教科等の指導における基本的な留意点
- (2) 感染のリスクが高い学習活動における留意点
- (3) 感染のリスクが特に高い学習活動における留意点
- (4) 授業や部活動、各種学校行事等の教育活動の継続と保障

※令和3年度 金沢市立小中学校の標準授業時数【小学校】別表1【中学校】別表2

金沢市図書館の図書等特別整理期間の変更について

令和2年10月21日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

金沢市図書館の図書等特別整理期間の変更について

1. 趣旨

新型コロナウイルス感染防止対策として4月11日から5月31日まで臨時休館したことから、秋期の休館日数を減らし市民サービスの充実に努めるため、金沢市図書館規則第3条の規定により、図書等特別整理期間を下記の期間に変更して実施する。

2. 休館期間

変更後 令和2年11月30日（月）～12月4日（金）（5日間）

（変更前） 令和2年11月30日（月）～12月11日（金）（12日間）

3. 休館中の業務内容

施設整備工事、施設設備点検、害虫駆除、資料整理等を実施

- ・期間中、図書館情報システムを停止

4. 対象図書館

- (1) 玉川図書館
- (2) 泉野図書館
- (3) 金沢海みらい図書館
- (4) 玉川図書館城北分館
- (5) 玉川図書館近世史料館
- (6) 平和町児童図書館

5. 広報

- (1) 図書館及び金沢市ホームページ掲載
- (2) 館内掲示、チラシ等配布
- (3) 貸出レシートに印字
- (4) 新聞広報掲載 等

令和3年度金沢市立工業高等学校全日制の課程
第1学年入学者募集要項について

令和2年10月21日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和3年度金沢市立工業高等学校全日制の課程第1学年入学者募集要項

1 出願資格

次の(1)、(2)又は(3)を満たし、かつ、(4)に該当する者とする。ただし、出願時に高等学校若しくはこれに準ずる学校又は中等教育学校の後期課程に在籍している者は、出願できない。

- (1) 令和3年3月に中学校若しくはこれに準ずる学校又は義務教育学校の後期課程若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を卒業見込み又は修了見込みの者
- (2) 中学校を卒業し、又は修了した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号に掲げる者
- (4) 志願者及び保護者が石川県内（以下「県内」という。）に居住する者又は入学までに県内に居住することとなる者

2 募集定員

募集定員は、次のとおりとする。

学 科	募集人員
機 械 科	80人
電 気 科	40人
電 子 情 報 科	40人
建 築 科	40人
土 木 科	40人

3 出願手続

- (1) 入学志願者は、県内にある本校以外の公立の高等学校に併願することができない。ただし、本校の学科出願については、第2志望まで志願することができる。
- (2) 入学志願者は、所定の入学願書（以下「入学願書」という。）に入学検定手数料2,200円を添え、原則として在学又は出身の中学校校長（以下「中学校長」という。）を経由して本校校長に提出する。
- (3) 入学検定手数料は、現金をもって納入するものとする。
なお、郵送による出願を希望する場合は、簡易書留とし、入学検定手数料分の郵便局の定額小為替及び宛先を明記した返信用封筒（84円切手貼付）を同封し、期間内に必着で出願する。
- (4) 1の(2)に該当する者は、入学願書に出願資格確認書を添えるものとする。
- (5) 県外からの入学志願者及び1の(3)に該当する者は、入学願書に金沢市教育委員会が発行する入学志願許可書を添えるものとする。
- (6) 中学校長は、石川県教育委員会が定める調査書及び成績一覧表を本校校長に提出するものとする。

4 志願変更

(1) 志願の変更

入学願書の提出後に、他の公立高等学校又は本校に設置する他の学科に志願を変更しようとする者は、1回に限りその志願を変更することができる。ただし、第2志望のみの変更、追加及び取消しは、認めない。

(2) 志願変更手続

ア 志願変更を希望する者は、志願変更願を中学校長を経由して本校校長に提出し、入学願書及び入学検定手数料（現金）を取り下げ、志願変更証明書の交付を受け、新たに作成した入学願書に当該証明書及び入学検定手数料を添えて、変更先高等学校長に提出する。

なお、志願変更願を提出した者は、当該志願変更願に記入した変更先高等学校へ必ず出願手続をとらなければならない。

イ 本校に設置する他の学科に志願変更する場合も、アに準じて手続を行うこと。ただし、志願変更証明書に関する手続は不要とする。

ウ 県外からの入学志願者等で、志願変更に関する手続のうち、中学校長において処理されるべき事項について、志願変更期間内にその処理が困難な場合は、入学志願者において直接志願変更の手続ができるものとする。

5 出願及び志願変更等の期間

(1) 入学願書受付期間

令和3年2月17日（水）から同月22日（月）まで。ただし、日曜日、土曜日は受付をしない。
また、郵送によるものは簡易書留とし、期間内に到着したものに限り受け付ける。
なお、出願の特例措置については、11の(4)及び(5)によるものとする。

(2) 志願者数公表

令和3年2月22日（月）午後3時30分に、本校において行う。

(3) 志願変更期間（入学願書取下げ、変更出願）

令和3年2月26日（金）から同年3月2日（火）まで。ただし、日曜日及び土曜日は受付をしない。

(4) 調査書等の提出期間

令和3年3月2日（火）から同月4日（木）まで。

なお、(1)、(3)及び(4)についての受付時間は午前9時から午後4時までとし、令和3年2月22日（火）及び同年3月2日（火）の受付時間は午前9時から午後3時までとする。

6 入学者の選抜

入学者の選抜については、それぞれの学科の特色を配慮しつつ、その教育を受けるにふさわしい生徒の能力、適性等を評価して、次のとおり合格者を決定するものとする。

(1) 入学者の選抜は、中学校長から提出される調査書及び成績一覧表による内申等並びに本校において実施する学力検査等の結果を資料として行う。

なお、選抜に当たっては、当初からの入学志願者と志願変更による志願者とは同等に取り扱う。

(2) 調査書及び成績一覧表による内申と学力検査の結果との相互関係等を十分考慮して審査する。

なお、面接の結果も十分参考にする。

7 調査書

調査書は、石川県教育委員会が定める様式により、中学校長がその責任において作成する。

8 自己申告書

中学校において、欠席日数が、いずれかの学年で年間30日以上の方は、志願者本人の希望により、自己申告書を提出することができる。

なお、自己申告書は、志願者本人が記載し厳封の上、中学校長に提出し、中学校長は調査書等の書類とともに本校校長に提出することとする。

9 学力検査等

(1) 学力検査は、令和3年3月9日（火）及び同月10日（水）の両日、入学志願者の全員について本校において行う。

(2) 1日目には、国語、理科及び外国語（英語「聞くことの検査」を含む。）の3教科の学力検査を次の日程で実施する。

3月9日（火）	9:00～9:50	10:10～11:00	11:20～12:10
	国 語	理 科	英 語

*各教科100点満点

(3) 2日目には、社会及び数学の2教科の学力検査と面接を次の日程で実施する。

3月10日（水）	9:00～9:50	10:10～11:00	11:15～
	社 会	数 学	面 接

*各教科100点満点（面接を除く。）

10 合格者の発表

学科別合格者の発表は、令和3年3月17日（水）正午に、本校内において受検番号の掲示をもって行う。

11 通学区域及び県外からの出願

(1) 本校の通学区域は、金沢市立工業高等学校の通学区域を定める規則（平成12年教育委員会規則第27号）の定めるところによるものとし、県内全域から出願することができる。

(2) 県外からの入学志願者は、金沢市立工業高等学校学則（昭和33年教育委員会告示第2号）第17条第3項に定める入学志願特別事情具申書を令和3年1月6日（水）以後に金沢市教育委員会に提出して入学志願許可を受け、当該入学志願許可書を添えて入学願書受付期間中に本校へ出願手続を終えなければならない。

なお、この入学志願特別事情具申書には、中学校長の証明を受け、事由を証するに足る書類を添付しなければならない。

(3) 福井県あわら市に在住する生徒で、地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の14第1項の規定による、あわら市教育委員会と石川県加賀市教育委員会との間の事務の委託に基づいて加賀市立錦城中学校に在学し、同校を卒業見込みの者又は卒業した者については、県内からの入学志願者と同様に取り扱う。

(4) 転勤による県外からの一家転住、その他やむを得ない事情により所定の期間内に出願手続ができなかった者については、金沢市教育委員会において審査の上、特例として出願を認めることがある。

(5) (4)の特例措置による出願をする場合は、関係書類を整え中学校長を経由して金沢市教育委員会に申請し、許可を受けた後、その入学志願許可書を添えて、本校へ出願することができるものとする。

なお、その出願期間は、令和3年2月26日（金）から同年3月2日（火）午後3時までとする。ただし、日曜日及び土曜日は受付をしない。

12 帰国生徒及び外国人生徒の出願

(1) 中学校に在籍する帰国後3年未満（外国人生徒にあつては、入国後3年未満）の生徒が出願する場合は、入学願書に海外在住状況説明書を添えて、出願手続を行うものとする。

(2) 外国の中学校を卒業見込みの者又は卒業した者が出願する場合は、海外在住状況説明書を添え、県外からの出願の手続に準じて行うものとする。

13 学力検査において特別な配慮を必要とする生徒の申請手続等

(1) 学力検査において特別な配慮を必要とする者は、入学願書出願開始日までに、学力検査に関する特別配慮事項申請書により中学校長を経由して本校校長に申請するものとする。

(2) 本校校長は、金沢市教育委員会と協議の上、配慮事項について中学校長に通知するものとする。

(3) 特別な配慮事項については、石川県教育委員会が定める令和3年度石川県公立高等学校全日制の課程第1学年入学者募集要項の例による。

14 推薦入学

次の学科について実施する。

(1) 募集人員 60人

学 科	募集人員
機 械 科	20人
電 気 科	10人
電 子 情 報 科	10人
建 築 科	10人
土 木 科	10人

(2) 出願資格

推薦入学を志願できる者は、令和3年3月に県内の中学校を卒業見込み又は修了見込みの者で、

次に掲げる要件を満たし、合格の内定を得た場合に入学を確約できる者とする。

ア 当該学科を志望する動機及び理由が明確かつ適切であること。

イ 当該学科に対する適性、興味及び関心を有すること。

ウ 調査書に優れた点や長所の記録を有すること。

エ 中学校長の推薦を得た者であること。

(3) 出願方法及び出願手続

ア 出願は、1人1学科に限る。

イ 推薦入学を希望する者(以下「推薦入学志願者」という。)は、所定の推薦入学願書(以下「推薦入学願書」という。)に入学検定手数料2,200円を添え、中学校長を経由して本校校長に提出する。

なお、入学検定手数料の取扱い及び郵送による出願については、3の(3)に定めるところによる。

ウ 中学校長は、推薦入学願書、推薦書、志願理由書及び調査書に推薦入学願書送り状を添えて、本校校長に提出するものとする。

なお、成績一覧表は、令和3年3月2日(火)から同月4日(木)までに本校校長に提出すること。

(4) 出願期間

出願受付期間は令和3年2月1日(月)から同月3日(水)までとし、期間中の受付時間は午前9時から午後4時までとする。また、郵送によるものは簡易書留とし、期間内に到着したものに限り受け付ける。

(5) 面接

ア 面接は、令和3年2月9日(火)に推薦入学志願者の全員について、本校において次により行う。

9:00 ~ 9:30	9:30 ~ 9:45	10:00 ~
受 付	氏名点呼及び注意事項伝達	面 接

イ 面接開始時刻に遅れたときは、本校校長に届け出て、その許可を受けなければ面接を受けることができない。

ウ 面接日時に面接を受けなかった場合には、追面接は行わない。

(6) 推薦入学者の選抜

ア 推薦入学志願者に対しては、教科の学力検査を行わない。

イ 本校校長は、中学校長から提出された推薦書、志願理由書及び調査書並びに面接の結果を資料として総合的に判断し、推薦入学合格内定者(以下「合格内定者」という。)を決定する。

(7) 合格内定者数の公表及び選考結果の通知

ア 令和3年2月15日(月)午前10時に、本校内において学科別合格内定者数を公表する。

イ 本校校長は、推薦入学選考結果通知書を作成し、令和3年2月15日(月)に各中学校長に送付する。

なお、合格内定者には、合格内定通知書を中学校長を通じて交付する。

(8) 合格者の発表

合格の内定を得た者について、令和3年3月17日(水)正午に、本校内において一般入学の合格者とともに発表する。

(9) 選考に漏れた者の取扱い

選考に漏れた者の取扱いについては、令和3年度石川県公立高等学校推薦入学実施要項の例による。この場合において、入学検定手数料(現金)の取扱いについては、中学校長を通じて返却するものとするが、当該者が再度公立高等学校の一般入学に出願しない場合は、本校に当該入学検定手数料を納入するものとする。

15 一般入学の学力検査等における救済措置

(1) 対象者

一般入学の学力検査等の一部又は全てを欠席した者のうち、本人からの申請に基づき、本校校長が審査し、次のア又はイに該当すると認められた者に対して、追検査等を実施するものとする。

ア 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第18条の規定による学校において予防すべき感染症等により、特別な配慮によっても受検できなかった者

イ 風水震火災その他の非常災害による交通遮断等により受検できなかった者

(2) 申請及び審査

ア 申請

(ア) 中学校長は、追検査等の受検希望者がいる場合は、当該生徒の状況及び意思を確認し、令和3年3月9日（火）及び同月10日（水）の両日とも原則午前9時までに、本校校長に対して電話にて伝える。

(イ) 受検希望者は、令和3年3月11日（木）の原則午後4時までに、中学校長を經由して本校校長へ追検査等受検申請書を提出する。その際、追検査等受検申請書には、受検できなかった理由が正当であることを証明できる書類（医師の診断書、中学校長の副申書など）を添付する。

イ 審査

(ア) 本校校長は、申請書等を審査し、(1)ア又はイに該当すると認められる者に対して追検査等の受検を許可する。

(イ) 本校校長は、令和3年3月11日（木）午後3時までに審査結果通知書及び追検査等の受検を承認した場合は追検査等受検許可書を中学校長に交付する。

(ウ) 中学校長は、審査結果を当該生徒に通知する。

(3) 合格者の選抜

合格者の選抜は、調査書及び追検査の結果を総合して行うものとする。合格者は若干名とし、一般入学の合格者に追加する。

なお、虚偽の申請が明らかになった場合は、合格及び入学を取り消すこととする。

(4) 追検査等

ア 追検査等は、令和3年3月15日（月）に本校において行う。

イ 追検査は、検査Ⅰ（国語、外国語（英語（「聞くことの検査」は行わない。）））、検査Ⅱ（理科、社会、数学）を次の日程により実施する。

3月15日（月）	8:20～8:40	9:00～9:40	10:00～11:00
	受 付	検 査 Ⅰ	検 査 Ⅱ

ウ 配点については、検査Ⅰについては、国語40点、英語40点の計80点満点、検査Ⅱについては、理科40点、社会40点、数学40点の計120点満点とする。

エ 面接は検査Ⅱの終了後に実施する。

(5) 選抜結果の通知

本校校長は、選抜結果通知書を作成し、令和3年3月18日（木）に中学校長に送付する。また、合格者には、合格通知書を中学校長を通じて交付する。

なお、受検番号の掲示による合格者の発表は行わない。

16 その他

(1) 詳細については、石川県教育委員会が定める令和3年度石川県公立高等学校全日制の課程第1学年入学者募集要項、令和3年度石川県公立高等学校全日制の課程入学志願者取扱要項及び令和3年度石川県公立高等学校推薦入学実施要項による。

- (2) 入学願書及び本校の募集案内は、各中学校へ送付する。また、郵送を希望する者は、宛先を明記し、250円分の切手を貼り付けた返信用封筒（角形2号）を同封して、本校へ直接申し込むものとする。
- (3) 入学者募集に関する問合せ先
金沢市立工業高等学校（石川県金沢市畝田東1丁目1番地1）
電話（076）267-3101 （郵便番号920-0344）

【改正案】

第1号様式の2（第17条関係）

入 学 願 書		受 検 番 号	
志 願 者	ふ り が な	生 年 月 日	
	氏 名	年 月 日生	
	志 願 学 科	科	第 2 志 望 科
	現 住 所		
	中 学 校 名	年 月 日 立	中 学 校 卒 業 卒業見込み
保 護 者	氏 名	志願者との続き柄	
	現 住 所		
<p>上記のとおり、貴校に入学を志願いたします。</p> <p>(宛先) 金沢市立工業高等学校長</p> <p>年 月 日</p> <p>志願者氏名</p> <p>保護者氏名</p> <p style="text-align: right;">印</p>			<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>志 願 者 写 真 貼 付 欄</p> </div>

備考 保護者本人が署名する場合は、押印を省略できます。

【現行】

第1号様式の2 (第17条関係)

入学願書		受検番号		
志願者	ふりがな		性別	生年月日
	氏名			年月日生
	志願学科	科	第2志望	科
	現住所			
	中学校名	年月日立	中学校	卒業 卒業見込み
保護者	氏名		志願者との続き柄	
	現住所			
<p>上記のとおり、貴校に入学を志願いたします。</p> <p>(宛先) 金沢市立工業高等学校長</p> <p>年月日</p> <p>志願者氏名</p> <p>保護者氏名</p> <p style="text-align: right;">印</p>				<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>志願者 写真 貼付欄</p> </div>

備考 保護者本人が署名する場合は、押印を省略できます。

「市民大学オンライン講座」の開講について

令和2年10月21日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

「市民大学オンライン講座」の開講について

今年度の市民大学講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン形式で開催する。

1 概要

- (1) 名 称 『市民大学オンライン講座』
- (2) 受講方法 金沢市公式 YouTube チャンネルで配信（申込不要）
※インターネット環境がない方にはDVDを貸出
- (3) 受講料 無料
- (4) 公開期間 令和2年10月25日(日)～翌年3月31日(水)

2 内容

- (1) 全体テーマ 「新手の金沢」
～今だからこそ 金沢の魅力を見つめよう～
- (2) 講座
 - 第1回 公開日：令和2年10月25日(日)：国立工芸館開館日
「皇居のほitoriから、金沢へ。国立工芸館の愉しみ方」
国立工芸館長 唐澤 昌宏 氏
金沢卯辰山工芸工房専門員 佐々木 類 氏（聞き手）
 - 第2回 公開日：令和2年11月25日(水)
「枠にとらわれない新手から学ぶ。金沢での仕事術」
女優・タレント・経営者 MEGUMI 氏
クリエイター 越後 龍一 氏
 - 第3回 公開日：令和3年1月8日(金)
「新手の金沢 世界へ 若手漆芸作家の挑戦」
工芸美術家 池田 晃将 氏
金沢美術工芸大学教授 山村 慎哉 氏
金沢クラフトビジネス創造機構
専務理事 新木 伊知子 氏（聞き手）

金沢こども衛星アイデアコンテスト、宇宙絵画作品コンテストについて

令和2年10月21日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

金沢こども衛星アイデアコンテスト、宇宙絵画作品コンテストについて

1 目的

本市では、平成28年度に策定した宇宙教育推進計画を通じて、「宇宙分野での貢献を本気で目指す人材の育成」と「広く市民が宇宙に興味を持てる環境づくり」をめざしている。

子供たちがこれまで以上に宇宙へ興味を持ち、天文や宇宙工学、最新研究にふれるきっかけとなる取組として、衛星アイデア・宇宙絵画作品コンテスト等を実施し、優秀作品を選出・表彰する。

2 募集内容（募集期間 7月1日～9月12日）

(1) 衛星アイデアコンテスト

- ① 小学校4～6年生の部 募集テーマ『人工衛星でこんなことができたらいいな!』
- ② 中学校・高等学校の部 募集テーマ『金沢の新たな魅力を生み出す人工衛星』

(2) 宇宙絵画作品コンテスト

- ① 小学校1～3年生
募集テーマ『思いっきり遊びたい! さあ、今日は宇宙で何して遊ぼう!!』

(3) 応募状況

応募部門	応募対象	R2 応募者数	R1 応募者数
衛星アイデアコンテスト	小学校4～6年生	1221名	512名
	中学・高校	296名	171名
宇宙絵画作品コンテスト	小学校1～3年生	193名	52名

3 審査会（衛星アイデア部門）

- (1) 日時 令和2年9月26日（土） 13時00分～14時20分
- (2) 場所 長土堀青少年交流センター
- (3) 方法 各部門の上位4～5作品による概要説明とポスターセッションを実施
- (4) 審査員 八木谷 聡 氏（金沢大学 先端宇宙理工学研究センター長）
中須賀 真一 氏（東京大学 航空宇宙工学専攻教授）
久保田 孝 氏（JAXA 教授）
永崎 将利 氏（スペースBD代表 共同創業者）
居相 政史 氏（アクセルスペース 衛星開発部門）

4 表彰式（衛星アイデア部門・宇宙絵画作品部門）

- (1) 日時 令和2年9月26日（土） 15時30分～16時
- (2) 会場 長土堀青少年交流センター
- (3) 概要 表彰状授与
審査員による講評

「ジュニアかなざわ検定 チャレンジ@ほーむ」の実施結果について

令和2年10月21日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

「ジュニアかなざわ検定 チャレンジ@ほーむ」の実施結果について

1. 対 象 小学生（4年生～6年生）、中学生（1年生～2年生）

2. 実施期間 令和2年7月10日（金）～9月30日（水）

3. 出題形式

- ・ 択一式50問
- ・ 出題は過去問題から選定
- ・ 5問程度は、「こども金沢市史（改訂2版）」の新テーマや旬の金沢に関する話題等から出題



「ジュニアかなざわ検定
チャレンジ@ほーむ」問題冊子

4. 採点方法等

- ・ ホームページに掲載した解答を各自で自己採点
- ・ アンケートはがきにより検定に対する意見を聴取

5. 参加者数

	小学生	中学生	合 計
対象者数	11,915 名 (12,270 名)	8,290 名 (12,154 名)	20,205 名 (24,424 名)
葉書回答者 (受検者数)	1,945 名 (3,383 名)	563 名 (2,560 名)	2,508 名 (5,943 名)
回答率	16.3% (27.5%)	6.7% (21.0%)	12.4% (24.3%)

※（ ）は前年度実績

6. 効 果

- ・ 夏休み中の自主的なふるさと学習ツールとして活用
- ・ 親子で金沢の歴史や伝統を学び、話し合う機会を創出
- ・ 小中学校の総合的な学習の時間に、授業の復習教材として活用

7. 参加者意見

- ・ 検定をきっかけに金沢のことを学び、知ることができた
- ・ もっと金沢ことを知りたくなった
- ・ 家族と一緒に問題に出ていた場所に行ってみたい など

8. 今後の展開

- ・ ホームページに、過去の検定問題、ミニ検定を掲載
- ・ ふるさと教育を推進する新たな手法を研究

出張図書館モデル事業の実施について

令和2年10月21日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

出張図書館モデル事業の実施について

1. 趣 旨

学校、公民館、ショッピングセンター等と連携して、図書館の図書貸出・返却等のモデル事業を実施し、地域におけるさらなる読書活動推進のためのネットワークの充実・拡充を図る。

2. 実施内容

- (1) 玉川図書館の蔵書200～500冊の展示、閲覧、貸出、返却受付
絵本、児童書、一般書（小説・実用書等）
- (2) 新規図書館カードの交付
- (3) 図書の貸出予約受付

3. 実施場所・実施日

○安原公民館 1階 講堂 (金沢市福増町)

10月22日(木)～令和3年3月末 毎月 第2・4木曜日 午後2時～4時

○イオン金沢店 3階 催事場 (金沢市福久2丁目)

10月27日(火)～令和3年3月末 毎月 第2・4火曜日 午前10時～12時

※平日のみ実施

4. 広報

新聞広報

各実施場所にポスター掲示

図書館及び金沢市ホームページ掲載 等

5. 感染症対策

職員は、マスク・フェースガード・手袋着用

手指消毒薬設置

返却本は消毒液で拭き作業後1日保管

資 料
議案第 29 号

令和3年度

<p>金沢市立小・中学校における 教育課程編成・実施の基本方針</p>

令和2年10月
金沢市教育委員会

平成28年度より金沢市立小・中学校において実践している「金沢型学校教育モデル」は、児童生徒が「何を学ぶか」という内容として「金沢型学習プログラム」、「どのように学ぶか」という方法として「金沢型学習スタイル」、それらを支える学びの土台として「金沢型小中一貫教育」という3つの要素で構成されている。

「金沢型学習プログラム」は、全小・中学校の基準となる学習内容を明確にすることにより、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成や金沢への愛着と誇りがもてる教育を推進することを目的としている。具体的には、「金沢ベーシックカリキュラム」「金沢ふるさと学習」「金沢『絆』活動」の3つの内容を示している。

本基本方針は、各学校において「金沢型学習プログラム」に基づく教育活動を実践するに当たっての「教育課程編成の基本的な考え方」「教育課程実施の基本的な考え方」「教育課程編成・実施の留意事項」「新型コロナウイルス感染症対策と学びの保障の両立に向けての留意事項」について定めたものである。

これに基づき、よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を作るという目標を学校と社会とが共有し、各学校においては、子供たちが自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力を明確にしながら、地域・家庭との連携・協働によりその実現を図っていく「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し「カリキュラム・マネジメント」を促進することが大切である。

I 教育課程編成の基本的な考え方

1 金沢ベーシックカリキュラムに基づく特色ある教育課程の編成

金沢ベーシックカリキュラムは、全小・中学校の基準となる知・徳・体の調和のとれた特色ある教育課程であり、各教科の教育課程に加え、道徳教育、人権教育、健康教育等の年間指導計画例も示している。各学校においては、これを基準として、児童生徒の実態や地域の特色等を踏まえた「特色ある学習内容」を加え、学校独自の教育課程を編成する。

- (1) 各学校においては、金沢ベーシックカリキュラムを基準に、全国学力・学習状況調査や県基礎学力調査、県評価問題、定期テスト、単元末テスト、新体力テスト等の結果を有効に活用したり、金沢及び地域の資産を生かした学習を各教科等に位置付けたりして、「特色ある学習内容」を充実させ、学校独自の教育課程を編成する。
- (2) 各学校においては、金沢ベーシックカリキュラムにおいて明記した【小学校との関連】【中学校との関連】を生かしながら、中学校区の小・中学校の各種調査結果を分析し、「特色ある学習内容」を充実させ、学校独自の教育課程を編成する。
- (3) 道徳教育の指導計画について、全体計画及び年間指導計画の改善・充実、各教科等との関連を図り、自校の実態に即した教育課程となるよう編成する。
- (4) 人権教育の指導計画について、全体計画及び年間指導計画の改善・充実、各教科等との関連を図り、自校の実態に即した教育課程となるよう編成する。

- (5) 健康教育の指導計画について、健康教育推進プラン2019に基づき、全体計画及び年間指導計画の改善・充実、各教科等との関連を図り、自校の実態に即した教育課程となるよう編成する。

2 金沢ふるさと学習の推進

「金沢ふるさと学習」は、金沢のもつ伝統や文化、自然、歴史、食などの多様な素材や人材を活用し、金沢について学び、考え、かかわり、広めることを通して、金沢のまちに愛着と誇りをもち、まちづくりの担い手を育むことをめざす学習である。

- (1) 小学校第1・2学年においては、生活科又は学級活動の時間の中で、小学校第3学年から中学校第3学年までは、総合的な学習の時間の中で定められた時数を下限として教育課程を編成する。
- (2) 各学年のテーマ、ねらい及びねらいを達成するために設定した単元は、全小・中学校で共通のものとする。なお、学校の実情や地域の実態に応じて、扱う素材については各学校において選択して、教育課程を編成する。
- (3) 指導資料に示した身に付けさせたい資質・能力及び態度を育成できるように、各学校の教育課程を充実する。
- (4) これまでのユネスコスクールとしての取組を「金沢SDGs」の視点で点検・再評価したことを踏まえて、各学校の実情に応じて総合的な学習の時間の教育課程を充実する。

※「SDGs」とは、「持続可能な開発目標」の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール（目標）と169のターゲット（具体目標）から構成される。2019年4月からスタートした「金沢SDGs」には、金沢でSDGsを効果的に進めるにあたり、「金沢の風土、歴史、文化を踏まえること」、「経済、社会、環境の3つの側面を包括的に捉えること」という視点から5つの方向性が示された。

〔5つの方向性〕

1. 自然、歴史、文化に立脚したまちづくりをすすめる
2. 環境への負荷を少なくし資源循環型社会をつくる
3. 次代を担う子供たちの可能性を引き出す環境をつくる
4. 誰もが生涯にわたって学び活躍できる社会風土をつくる
5. 文化や産業に革新的イノベーションが起きる仕組みをつくる

3 金沢「絆」活動の推進

金沢「絆」活動は、「金沢子どもかがやき宣言」に基づく実践を通して、人と人との絆を大切にしながら、責任感、思いやり、向上心、行動力、コミュニケーション能力などの心と力を磨く児童会・生徒会活動である。金沢「絆」会議の開催、各中学校区における金沢「絆」プロジェクトの実施、金沢「絆」の日の設定の3つの取組により活動を推進していく。

- (1) 「金沢子どもかがやき宣言」に基づいた具体的な実践については、金沢「絆」会議で協議・決定したテーマを基に、地区別「絆」会議を開催するとともに、校区の実態に応じた具体的な取組を協議・決定する。各学校の児童会・生徒会における金沢「絆」プロジェクトの主体的な取組につなげることで、児童生徒相互の好ましい人間関係の育成や基本的な生活習慣、社会規範を身に付けることができるよう、各学校において特色ある教育課程を編成する。
- (2) 金沢「絆」の日については、児童会・生徒会が中心となり、保護者・地域と連携しながら、人と人とのつながりを大切にした活動を実施するため、各学校において特色ある教育課程を編成することとしている。

4 特別支援学級、通級指導教室における教育課程の編成

各学校においては、特別な支援を必要とする児童生徒について、その障害等についての理解を進め、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が相互に理解し、共に支え合うことを大切にするとともに、児童生徒の実態を適切に把握し、一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程を編成することが重要である。

- (1) 日々の観察において、学校生活の様子や学習状況等を把握するとともに、保護者との面談等を行い、家庭生活の様子や生育歴・相談歴、障害の程度等を考慮のうえ、一人一人の教育的ニーズに応じた、適切な教育課程を編成する。
- (2) 特別支援学級に在籍する児童生徒、通級による指導を受けている児童生徒について、関係機関と連携し、「個別の教育支援計画」を作成するとともに、それに基づいた教育課程を編成する。
- (3) 「特別の教科 道徳」については、「各教科等を合わせた指導」を教育課程に位置付ける場合、「各教科等を合わせた指導」の中で行うと捉え、教育課程を編成することもできる。ただし、知的障害のない児童生徒に対しては、道徳科の教育課程を編成し、時間割上にも明記する必要がある。
- (4) 「自立活動」については、知的障害のない児童生徒に対して、教育課程を編成し、35時間以上位置付けるとともに、時間割上にも明記する必要がある。ただし、「各教科等を合わせた指導」を教育課程に位置付ける場合、「各教科等を合わせた指導」の中で行うと捉え、教育課程を編成することもできる。

5 信頼される学校づくりに向けた教育課程の編成

教職員と保護者、地域住民が共に学校の教育活動をつくる時代にあっては、「社会に開かれた教育課程」を編成していくことが必要となる。広く市民が教育課程を理解することができるよう、各学校においては、児童生徒や地域の現状に関する調査結果等に基づき、保護者や地域住民のニーズを把握するとともに、それらを生かした教育課程を編成することが重要である。

- (1) 公開授業の設定、様々な教育活動への参加・参画等、保護者や地域住民が、教育課程への理解を深めることができるように、教育課程を編成する。
- (2) 教職員が行う自己評価や学校関係者評価委員会又は学校運営協議会による評価結果を生かして教育課程の改善を図る。
- (3) 各学校の優先健康課題に対する健康教育、地域と連携した防犯・防災訓練等の安全教育や防災教育など、保護者や地域住民と連携した教育課程を編成する。
- (4) 地域の人材や施設、近隣の教育機関等との連携を意識した教育課程を編成する。

Ⅱ 教育課程実施の基本的な考え方

1 教育課程実施における量的な把握と質的な把握

- (1) 各学校における教育課程の実施に当たっては、「令和3年度金沢市立小中学校の標準授業時数（別表1、別表2）」を下回ることはないよう、計画的な実施のために必要な時数管理を行う。また、年間指導計画一覧表を活用して進捗確認を行うなど、適切な履修状況の確認及び教育課程実施状況の量的な把握について工夫し、課題が見られた場合は速やかに、組織的に対応する。
- (2) 金沢型学習スタイルに基づく授業改善、ねらいや学習課題とまとめの整合性、年間指導計画に基づいた道徳科の実施等の教育課程実施内容の充実のために、例えば、週案の形式や内容記載の統一、チェックシートの活用等、教育課程の質的な把握について工夫し、課題が見られた場合は速やかに、組織的に対応する。

2 各学校における特色ある教育課程の実施

- (1) 学力調査や体力・運動能力調査の結果に基づき、自校の児童生徒の実態を踏まえ、定着が不十分な学習内容等について、まとめや習熟の時間を設ける等、必要に応じて教育課程の見直しを図り、適切に実施する。
- (2) 各学校の「特色ある学習内容」については、確実に実施するとともに、成果や課題を検証し、次年度の教育課程編成に反映させる。

3 特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育課程の実施

- (1) 特別支援学級に在籍する児童生徒、通級による指導を受けている児童生徒の教育課程について、実態に合わない場合は、年度内であっても修正を行うとともに、教育課程の実施についての成果や課題を、次年度の教育課程に反映させる。
- (2) 通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒については、作成された

「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」に基づいて、学習の状況や結果の評価を行い、必要に応じて適切に教育課程を実施する。

4 信頼される学校づくりに向けた教育課程の実施

- (1) 教職員が行う自己評価や学校関係者評価委員会又は学校運営協議会による評価結果を、教育課程の実施に生かすとともに、必要に応じて教育課程の見直しを行う。
- (2) 児童生徒による授業評価や保護者等の学校関係者による評価、学校関係者評価委員会又は学校運営協議会による評価については、保護者や地域住民に分かりやすく結果を公表する。

Ⅲ 教育課程編成・実施の留意事項

教育課程の編成・実施に当たっては、教育活動で生じる諸問題や、児童生徒の実態、学校評価や教育課程の実施状況の評価等に基づく課題を踏まえ、学校の教育課程編成方針や各担当者の役割を明確にして、校長の監督のもと、組織的に行うことが重要である。

1 指導計画の内容

- (1) 小学校において編成する教育課程
 - ・令和3年度使用小学校用教科書については、学年によって、給与済の教科書を引き続き使用する教科があるため、教育課程の編成に留意する。

生活科	第2学年（東京書籍	令和2年度版を給与済)
図画工作科	第2学年（日本文教	令和2年度版を給与済)
	第4学年（日本文教	令和2年度版を給与済)
	第6学年（日本文教	令和2年度版を給与済)
家庭科	第6学年（開隆堂	令和2年度版を給与済)
体育科（保健）	第4学年（東京書籍	令和2年度版を給与済)
	第6学年（東京書籍	令和2年度版を給与済)

※教育課程については、K-1 2ライブラリに掲載した金沢ベーシックカリキュラムを基準として編成する。

- (2) 中学校において編成する教育課程
 - ・令和3年度使用中学校用教科書については、学年によって、給与済の教科書を引き続き使用する教科があるため、教育課程の編成に留意する。なお、令和3年度版を各学年に給与する教科については、国語科（光村図書）、数学科（東京書籍）、理科（啓林館）、外国語科（東京書籍）、道徳科（日本文教）である。その他の教科・学年については、次のとおりである。

国語科（書写）	第3学年（光村図書	平成31年度版を給与済)
	第2学年（光村図書	令和2年度版を給与済)
	第1学年（光村図書	令和3年度版を給与)
社会科（地理的分野）	第2学年（東京書籍	令和2年度版を給与済)

社会科（歴史的分野）	第1学年（帝国書院	令和3年度版を給与）
	第3学年（育鵬社	平成31年度版を給与済）
	第2学年（育鵬社	令和2年度版を給与済）
社会科（公民的分野）	第1学年（育鵬社	令和3年度版を給与）
	第3学年（帝国書院	令和3年度版を給与）
	第3学年（教育芸術社	令和2年度版を給与済）
音楽科（一般）	第2学年（教育芸術社	令和3年度版を給与）
	第1学年（教育芸術社	令和3年度版を給与）
	第3学年（教育芸術社	平成31年度版を給与済）
音楽科（器楽合奏）	第2学年（教育芸術社	令和2年度版を給与済）
	第1学年（教育芸術社	令和3年度版を給与）
	第3学年（光村図書	令和2年度版を給与済）
美術科	第2学年（光村図書	令和3年度版を給与）
	第1学年（光村図書	令和3年度版を給与）
	第3学年（東京書籍	平成31年度版を給与済）
保健体育科	第2学年（東京書籍	令和2年度版を給与済）
	第1学年（東京書籍	令和3年度版を給与）
	第3学年（東京書籍	平成31年度版を給与済）
技術家庭科（両分野）	第2学年（東京書籍	令和2年度版を給与済）
	第1学年（東京書籍	令和3年度版を給与）

※教育課程については、K-12ライブラリに掲載した金沢ベーシックカリキュラムを基準として編成する。

（3）各学校の教育課程に位置付ける指導計画

① 道徳教育

- ・「道徳教育全体計画」については「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」を踏まえ、「基本的把握事項」及び「具体的計画事項」について適切に記載する。
- ・「道徳教育全体計画（別葉）」については、各教科、英語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の時間、特色ある教育活動や豊かな体験活動等における道徳教育の方針、内容及び時期を一覧にまとめ、「特別の教科 道徳」が道徳教育の要としての役割を果たせるように作成する。
- ・「道徳教育年間指導計画」については、「金沢ベーシックカリキュラム道徳科」を基準として、各学校の道徳教育の状況やそれに伴う児童生徒の実態等を考慮して、主題の配列、重点的指導、各教科等の体験活動との関連的指導など、指導の効果を高めるための創意工夫を行い、本カリキュラムの「特色ある学習内容」欄に、学校独自の内容等を追加する。
- ・各学校においては、「私たちの道徳」「いしかわ版道徳教材」「映像資料集」「映像資料集2」の活用推進に向けて、年間指導計画の中に「資料名」等を記載する。なお、学期に1回程度「いしかわ版道徳教材」を活用した学習を指導計画に位置付ける。
- ・指導計画については、道徳教育推進教師を中心として、全教師の主体的な参画により作成する。

② 人権教育

- ・「人権教育全体計画」については、人権教育を通じて培われるべき資質・能力（ア知識的側面、イ 価値的・態度的側面、ウ 技能的側面）を踏まえ、児童生徒の実態に応じた課題を把握し、指導の重点を明確にして作成する。
- ・「人権教育年間指導計画」については、各教科、道徳科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連、授業における部落差別の歴史理解のためのDVDの活用方法を明確にして作成する。
- ・人権教育の全体計画及び年間指導計画については、平成20年3月「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕～実践編～」に基づき、人権教育担当者を中心として、全教師の主体的な参画により作成する。

③ 健康教育

- ・「健康教育全体計画」については、学校教育目標、児童生徒の実態、健康教育の目標、各学年の発達段階に応じた健康教育の目標、自校の優先健康課題や到達目標等について記載するとともに、7つの重点健康課題の取組について、各教科等や特別活動との関連や家庭・地域との連携等を明確にして作成する。
- ・「健康教育年間指導計画」については、自校の優先健康課題の目標や内容を明示するとともに、各教科等との関連及び家庭や地域との連携等を考慮して、各月の活動内容を具体的に記載する。
- ・健康教育の全体計画及び年間指導計画については、保健主事又は健康教育担当者を中心として、全教師の主体的な参画により作成する。

2 教育課程の編成・実施に向けた各担当者の役割

教育課程の編成・実施に当たっては、学級担任及び教科担当者等が、教育課程実施上の課題等について、次年度の教育課程編成に反映させるという視点を持つとともに、各担当者の役割を明確にして、学校全体で組織的に取り組むことが大切である。

(1) 主幹教諭・教務主任の役割

- ・主幹教諭・教務主任は、教育課程の編成に当たって、管理職の指導のもと、各学校の教育課程編成方針を明確にして、全職員による組織的な編成体制を構築する。また、教育課程の実施状況をきめ細かに把握するとともに、課題が見られた場合は、速やかに組織的に対応する。

(2) 研究主任（学力向上担当者）の役割

- ・研究主任（学力向上担当者）は、教育課程の編成に当たって、各種学力調査の結果等を各教科の「特色ある学習内容」に反映させるために、自校の学力の現状を把握し、課題を明確にする。また、教育課程の適切な実施に向けて、全体研究会や分科会、学年会や教科部会等を活用し、指導方法の工夫や教材開発等、教育課程の質的な向上について組織的に対応する。

(3) 生徒指導主事の役割

- ・生徒指導主事は、教育課程の編成に当たって、児童会・生徒会担当者と連携し、金沢「絆」活動において、児童会・生徒会の主体的な活動が推進されるよう、自校の教育課程を工夫する。また、教育課程の適切な実施に向けて、生徒指導の状況を把握し、見られた課題について組織的に対応する。

(4) 進路指導主事等の役割

- ・進路指導主事及び小学校進路指導担当者は、教育課程の編成に当たって、児童生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、自校の教育課程を工夫するとともに、「キャリア・パスポート」を活用するに当たっては、学級活動を中心に教育課程の編成の際に、どの場面で活用するのかを明記するようにする。また、教育課程の適切な実施に向けて、進路指導の状況を把握し、見られた課題について組織的に対応する。

(5) 保健主事等の役割

- ・保健主事又は健康教育担当者は、健康教育の指導計画作成及び教育課程の編成に当たって、自校の健康課題を明確にして、児童生徒の健康や体力の向上に資するよう指導計画を作成するとともに、各教科等の「特色ある学習内容」の欄に指導計画との関連を明記するなど、教育課程の充実を図る。また、指導計画及び教育課程の適切な実施に向けて、取組状況を把握し、見られた課題について組織的に対応する。

(6) 道徳教育推進教師の役割

- ・道徳教育推進教師は、道徳教育の指導計画作成及び教育課程の編成に当たって、自校の道徳教育の課題を明確にして、児童生徒の道徳性の育成に向けて指導計画を作成するとともに、各教科等の「特色ある学習内容」の欄に指導計画との関連を明記するなど、教育課程の充実を図る。また、指導計画及び教育課程の適切な実施に向けて、取組状況を把握し、見られた課題について組織的に対応する。

(7) 人権教育担当者の役割

- ・人権教育担当者は、人権教育の指導計画作成及び教育課程の編成に当たって、自校の人権教育の課題を明確にして、人権教育の目標達成に向けて指導計画を作成するとともに、各教科等の「特色ある学習内容」の欄に指導計画との関連を明記するなど、教育課程の充実を図る。また、指導計画及び教育課程の適切な実施に向けて、取組状況を把握し、見られた課題について組織的に対応する。なお、人権教育の一層の推進のため、部落差別の歴史理解のためのDVDを校内研修等において積極的に活用する。

(8) 各種教育担当者の役割

- ・各種教育担当者は、各種教育の指導計画作成及び教育課程の編成に当たって、自校の各種教育の課題を明確にして、各種教育の目標達成に向けて指導計画を作成するとともに、各教科等の「特色ある学習内容」の欄に指導計画との関連を明記するなど、教育課程の充実を図る。また、指導計画及び教育課程の適切な実施に向けて、取組状況を把握し、見られた課題について組織的に対応する。

3 特別な支援を必要とする児童生徒の教育課程の編成・実施に向けた各担当者の役割

特別支援学級に在籍する児童生徒、通級による指導を受けている児童生徒の教育課程の編成・実施並びに特別な支援を必要とする児童生徒の教育課程の実施に当たっては、「金沢市特別支援教育指針（R2.12改定予定）」に基づき、学級担任及び教科担当

者等が、教育課程実施上の課題等について、次年度の教育課程編成に反映させるよう、各担当者の役割を明確にして、学校全体で組織的に取り組むことが大切である。

(1) 特別支援教育コーディネーターの役割

- ・特別支援教育コーディネーターは、特別支援学級に在籍する児童生徒の教育課程編成に当たって、児童生徒の成長や課題を明確にしたうえで、一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程となるよう工夫する。また、校内委員会を開催するなど、複数の教職員で組織的に編成できるようにする。

(2) 特別支援学級担当者の役割

- ・特別支援学級担当者は、一人一人の教育的ニーズを把握し、主幹教諭・教務主任等と協力して教育課程を編成する。基本的には、小・中学校の学習指導要領に基づき行うが、学級の実態や児童生徒の障害を考慮の上、特別支援学校の学習指導要領を参考にして、児童生徒の実態に合った教育課程を編成する。また、教育課程の実施においては、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を活用し、PDCAサイクルに基づいた指導内容や指導方法の改善及び充実を図る。

(3) 通級指導教室担当者の役割

- ・通級指導教室担当者は、児童生徒が在籍する学校の学級担任等と連携し、一人一人の教育的ニーズを把握し、通常の学級における集団での指導目標、通級指導教室における指導目標を明確にしたうえで、教育課程を編成する。

4 教育課程実施状況の把握と改善

(1) 各種調査による教育課程実施状況の把握と改善

- ・各種学力調査や体力・運動能力調査等の結果から、教育課程の実施状況を把握し、改善に努める。
- ・中学校は令和3年度の新学習指導要領全面実施に向け、通知表等の観点を見直すなどして、生徒及び保護者に学習状況を適切に説明するとともに、評価結果を教育課程の改善につなげる視点を持つ。

(2) 学校評価による教育課程実施状況の把握と改善

- ・教育課程の実施状況については、「学校評価ガイドライン〔平成28年度改訂〕」(H28.3.22付)及び「令和3年度金沢市学校評価ガイドライン(R3.3送付予定)」に沿って実施される学校評価の中で、重要な要素(指標・データ)となることから、客観的な評価となるよう工夫する。
- ・教育課程の実施状況等の評価結果は、次年度の教育課程編成に生かすとともに、その評価結果を保護者等に適切に説明するよう努める。

5 教育課程編成・実施に向けて留意すべき内容・授業時数等

- (1) 小学校及び中学校の各学年における各教科、道徳科、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの授業時数並びに各学年におけるこれらの総授業時数は金沢市が定めた「別表1」「別表2」に示す授業時数を標準とする。

- (2) 年間授業時数については、1 単位時間を小学校では45分、中学校では50分で行った授業によって「別表1」「別表2」に示す授業時数を確保することに留意する。
- (3) 指導内容の確実な定着を図るために必要がある場合は、年間授業時数の標準を上回る適切な指導時間を確保する。また、「金沢市立小学校、中学校管理規則」に則り、特色ある教育課程を編成・実施するために、校長の裁量を生かし、長期休業日及び週休日等に授業を実施できることに留意する。
- (4) 土曜授業（児童生徒に代休日を設けず、土曜日を活用して教育課程内の教育活動を行うもの）については、各学校の裁量で実施してもよいこととするが、実施回数は学期に原則1回程度とする。また、週休日等を活用した授業（児童生徒に代休日を設け、土曜日等を活用して教育課程内の教育活動を行うもの）についても、各学校の裁量とする。
- (5) 長期休業日や週休日等に授業をする場合は、児童生徒の負担過重や健康管理等に配慮し、保護者にその趣旨等を周知し十分理解を得るようにする。
- (6) 週ごと、月ごと、学期ごとに授業時数の管理や学習の進捗状況の把握を行うなど教育課程の実施状況等については、学級担任や教科担当者等が点検・評価する。
- (7) 総合的な学習の時間についてはその趣旨を踏まえて、児童生徒の探究的な学習となるような探究課題を設定するとともに、特別活動の安易な代替につながらないよう教育課程を編成・実施する。
- (8) 「金沢ふるさと学習」については、次のとおり実施する。
- ・小学校では、第1・2学年は4単位時間、第3・4学年は7単位時間、第5・6学年は12単位時間を下限とする。
 - ・中学校では、第1学年は8単位時間、第2学年では10単位時間、第3学年では12単位時間を下限とする。
 - ・「金沢ふるさと学習指導資料」に示す中学校第1学年の学習内容と中学校第2学年の学習内容については、入れ替えて実施することが可能であることから、学校の実情や地域の実態に応じて教育課程を編成する。
- (9) 小学校英語活動・英語科とショートタイムは、次のとおり指導計画に位置付け充実を図るとともに、実施に当たっては、週案及び年間指導計画に、その指導内容を記載し、時数の集計を確実に行う。
- ・第1・2学年はショートタイム15分30回で10単位時間とする。
 - ・第3・4学年は英語科35単位時間、ショートタイム15分36回で12単位時間とする。
 - ・第5・6学年は英語科70単位時間、ショートタイム15分36回で12単位時間とする。
 - ・授業時数の増加に伴う時間割編成については、平成31年2月の「金沢市小中一貫英語教育のさらなる推進に向けて〔答申〕」に基づき、各学校においては、委員会やクラブ活動の時間の扱い方や長期休業の利用等により、実情に合わせて日課や時間割編成を工夫して教育課程を編成する。

- ・クラブ活動の時間については「小学校における特別活動（クラブ活動）の授業時数等について（通知）（発教学 第 657 号. H30. 11. 20 付）」のとおり、年間 10 単位時間以上（原則月 1 回程度）とする。
- (10) 児童生徒の情報活用能力については、各教科等の問題解決的な学習過程を通して育成できるよう、工夫して教育課程を編成する。
- (11) 各教科等の時数の配当に当たっては、各種調査の実施及びまとめや習熟の時間の設定について適切に配慮するとともに、定着が不十分な単元の履修等については、十分な時間を掛けられるよう工夫して教育課程を編成する。
- (12) 金沢ベーシックカリキュラムの「主な学習内容」を変更する場合は、各教科の「特色ある学習内容」の欄に別ページの内容を指導することが分かるように明記するとともに、別ページに「主な学習内容」を作成する。但し、金沢ベーシックカリキュラムが金沢市立小・中学校の教育課程の基準であることを踏まえて、必要最小限の変更となるように留意する。
- (13) 小学校において実施する「プログラミング教育」については、令和元年度末に改訂された「金沢市立小学校プログラミング教育ベーシックカリキュラム（第二版）」に基づいて、児童がプログラミングを楽しみながら体験することをとおして、プログラミングの働きやよさに気付き、プログラミング的思考を育成することを目指し、各学校のカリキュラム・マネジメントにより実施する。なお、第 3・4 学年においては、10 時間を下限（学校裁量で増時することも可能）として実施する。
- (14) 特別活動における「キャリア・パスポート」について学習指導要領特別活動第 2〔学級活動〕3 内容の取扱いの「指導に当たっては学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うこと。その際、児童・生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること」とおり、「キャリア・パスポート」を活用するに当たっては、学級活動を中心に教育課程の編成の際に、どの場面で活用するかを明記する。

6 特別支援学級の教育課程編成・実施に向けて留意すべき内容・授業時数等

- (1) 教育課程の編成に当たっては、教科・領域に偏りが生じることがないように学習内容について確認する。また、児童生徒にとって豊かな経験や学習ができるよう教育課程を工夫する。
- (2) 教育課程の編成に当たっては、前年度の教育課程を基に、一人一人の教育的ニーズや発達段階に合わせるとともに、児童生徒の生活年齢にふさわしいものとなるよう考慮する。また、年間総授業時数は当該学年の年間総授業時数を下回らないよう編成する。
- (3) 教育課程の実施状況については、児童生徒一人一人が実際に授業を受けたかどうかについて個別に時数の把握をする。欠席・早退等の授業を受けていない時間に

については、教育課程の実施時数に含めない。

- (4) 教育課程の実施時数については、同一教科の時数であっても、特別支援学級における指導の時数と交流学級における指導の時数とを分けて把握する。
- (5) 「学級活動」は、児童生徒が在籍する特別支援学級を単位として行い、学級担任が指導する。
- (6) 「特別の教科 道徳」については、児童生徒に合わせて具体的に指導内容を設定し、在籍する特別支援学級で指導する。児童生徒によっては、「領域・教科を合わせた指導」の中で合わせて指導を行うこともできるが、その場合においても、関連する単元、指導内容が分かるように記載する。

7 G I G Aスクール構想に基づく教育課程の実施に向けて留意すべき内容

全小・中学校に対して、児童生徒1人1台の学習用端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、ICTを学習活動の中で積極的に活用するG I G Aスクール構想の実施に当たっては、「G I G Aスクール構想の実現へ 1人1台端末は令和の学びのスタンダード(文部科学省 R2.6送付)」及び金沢市教育委員会が作成する「金沢市立小・中学校 学校の情報化推進計画(R3.1送付予定)」、「金沢市立小・中学校 情報化年次計画(R3.1送付予定)」、「ICT版金沢型学習スタイル(R3.1送付予定)」に基づき、多様な児童生徒を誰1人取り残すことのない公正に個別最適化された学びの実現を目指すとともに、ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を実践することが大切である。

- (1) 学習用端末等については、各教科、英語活動、総合的な学習の時間及び特別活動等、全ての学習活動において積極的に活用を図るとともに、教科・学年・学級間で偏りが生じないように留意する。
- (2) 各教科等の指導においては、育成すべき資質・能力を見据えたうえで、各教科等の特質やICTを活用する利点などを踏まえて、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせて行う。
- (3) 各学校においては、「ICT版金沢型学習スタイル」に基づき、計画的・段階的にICTを活用した授業を実践する。その際、「ICT版金沢型学習スタイル」の基盤である「『だれでも』『いつでも』『すぐに』使えます」を参考にしたり、ICT支援員等の外部人材を効果的に活用したりする。

IV 新型コロナウイルス感染症対策と学びの保障の両立に向けての留意事項

新型コロナウイルス感染症対策と学びの保障の両立に当たっては、

- ・市立学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理ガイドライン
- ・学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル
～『学校の新しい生活様式』～

・感染症対策と学びの保障『金沢型パッケージ』（定例市教委・校長会議の配付資料 R2.7.7）に基づき、感染症対策を講じたうえで、学びの保障に努めるとともに、自校で感染者が発生した場合は速やかに、組織的に対応することが大切である。

1 児童生徒の「学びの保障」のための教育活動

児童生徒の「学びの保障」のための教育活動に当たっては、学校における感染症対策に万全を期すとともに、やむを得ず臨時休業を行わなければならない場合であっても、以下の点に留意し、児童生徒の学びを止めず、学校ならではの学びを最大限確保することが大切である。

- (1) 臨時休業中も、学びを止めない。
 - ・「オンライン授業の実現に向けた3つのステップ」（「本市の Google Classroom 等の活用について（通知）」（発教学第 373 号 R2.7.15 付）の別添資料）に基づき、学校の実情に応じてオンライン授業の実現に向けた準備を進める。
- (2) 速やかに、できるところから学校での学びを再開する。
 - ・やむを得ず臨時休業を行わなければならない場合を想定し、感染症対策に万全を期したうえで、登校日の設定、分散登校の実施などによりできる限り速やかに学校を再開できるよう準備しておく。
- (3) あらゆる手段を活用し、学びを取り戻す。
 - ・時間割編成の工夫や長期休業期間の活用等による当該学年の学習内容の確実な履修と確かな学力の定着を図る。その際、児童生徒に見合った授業日数・授業時数であることや、教職員の負担過重とならないように配慮する。
- (4) 学校ならではの学びを最大限確保する。
 - ・感染症対策を講じたうえで、可能な限り金沢型学習スタイルに基づく「主体的・対話的で深い学び」の実践に努める。その際、対話的な学びとは、グループワークやペアワーク等による話し合い活動等の学習形態のみを示すものではないことを留意し、タブレット端末等の ICT 機器を効果的に活用したり、先哲や作者等の考えに触れたりすることで自己の考えを広げるなどの学習活動を工夫する。

2 各教科等の指導における感染症対策について

- (1) 各教科等の指導においては、新型コロナウイルス感染症の感染防止の3つの基本、「①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い」について児童生徒に理解さ

せるとともに、下記の点に留意する。

- ・換気の悪い密閉空間をさけるため換気を徹底する。
- ・多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮をする。
- ・近距離での会話や大声での発生をできるだけ控える。 等

(2) 下記に示す「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」(「★」はこの中でも特にリスクが高いもの)については、可能な限り感染症対策を行ったうえで、本市の感染状況を踏まえ、リスクの低い活動から徐々に実施することを検討してもよい。その際、手洗い指導の徹底、体調に不安のある児童生徒の不参加を認めることなどについても留意する。

- ・児童生徒が長時間、密集または近距離で対面形式で行うグループワークやペアワーク、及び近距離で一斉に大きな声で話す活動(★)
- ・児童生徒同士が近距離で活動する実験や観察
- ・室内で近距離で行う合唱、管楽器演奏(★)
- ・児童生徒同士が近距離で共同製作等の表現や鑑賞の活動
- ・児童生徒同士が近距離で活動する調理実習(★)
- ・児童生徒が密集したり接触したりする運動(★) 等

(3) 感染症対策を講じてもなお感染のリスクが特に高い一部の実技指導等においては、指導(単元や題材)の順序(時期等)の変更等が考えられる。

(4) 感染症対策を講じながら、可能な限り、授業や部活動、各種学校行事等の教育活動を継続し、児童生徒の健やかな学びを保障する。

令和3年度 金沢市立小中学校の標準授業時数

【小学校】

(別表1)

区分	各教科											総合的な学習 の時間	特別活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	英語	道徳			
第1学年	306		136		102	68	68		102		34		34	850
第2学年	315		175		105	70	70		105		35		35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	70	35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	70	35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	70	35	1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	70	35	1015

※ この表の授業時数の1単位時間は、45分とする。

※ 第1・2学年の英語活動については、年間10単位時間のショートタイム授業を行う。

※ 第3～6学年の英語科については、上記授業時数に加えて年間12単位時間のショートタイム授業を行う。

【中学校】

(別表2)

区分	各教科										総合的な学習 の時間	特別活動	総授業時数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	外国語	道徳			
第1学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	50	35	1015
第2学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	70	35	1015
第3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	70	35	1015

※ この表の授業時数の1単位時間は、50分とする。

【共通】

※ 授業時数確保の観点から、短縮授業など、安易な日課変更は行わないこととする。

※ 教育課程の編成・実施に当たっては、「別表1」「別表2」に定める授業時数を下回ることがないようにする。

※ 「別表1」「別表2」に定める授業時数を上回って教育課程を編成・実施する場合は、児童生徒の負担過重にならないよう配慮する。

申込不要
受講無料
※通信費は受講者負担

今年
は
オンラインで
開催!!

金沢市公式 YouTube チャンネル 資料：報告第 30 号

市民大学

オンライン講座 「新手的金沢」

今だからこそ金沢の魅力を見つめよう

視聴は
こちら



市民大学講座 検索

視聴方法 インターネットに接続できる電子機器が必要

※インターネット環境のない方には DVD での視聴をご案内します。

※手話通訳または字幕がつきます。

公開期間 令和2年10月25日(日)～令和3年3月31日(水)

第1回 令和2年10月25日(日) am9:00～公開

「皇居のほitoriから、金沢へ。
国立工芸館の愉しみ方」

唐澤 昌宏 (国立工芸館長)

聞き手 佐々木 類 (金沢卯辰山工芸工房専門員)



第2回 令和2年11月25日(水) am9:00～公開

「枠にとらわれない新手から学ぶ。
金沢での仕事術」

MEGUMI (女優・タレント・経営者)

越後 龍一 (クリエイター)



第3回 令和3年1月8日(金) am9:00～公開

「新手的金沢 世界へ。
若手漆芸作家の挑戦」

池田 晃将 (工芸美術家)

山村 慎哉 (金沢美術工芸大学教授)

聞き手 新木伊知子

(金沢クラフトビジネス創造機構
専務理事)



お問い合わせ

金沢市教育委員会生涯学習課

Tel076-220-2441 Fax076-220-2488

URL: <https://www4.city.kanazawa.lg.jp/39026/kouza>

e-mail syougaku@city.kanazawa.lg.jp

令和2年度

金沢こども衛星アイデア 宇宙絵画作品コンテスト

受賞作品一覧

衛星アイデア部門

募集テーマ

【小学校 4 ～ 6 年生】

「人工衛星でこんなことができたらいいな！」

【中学校・高等学校の部】

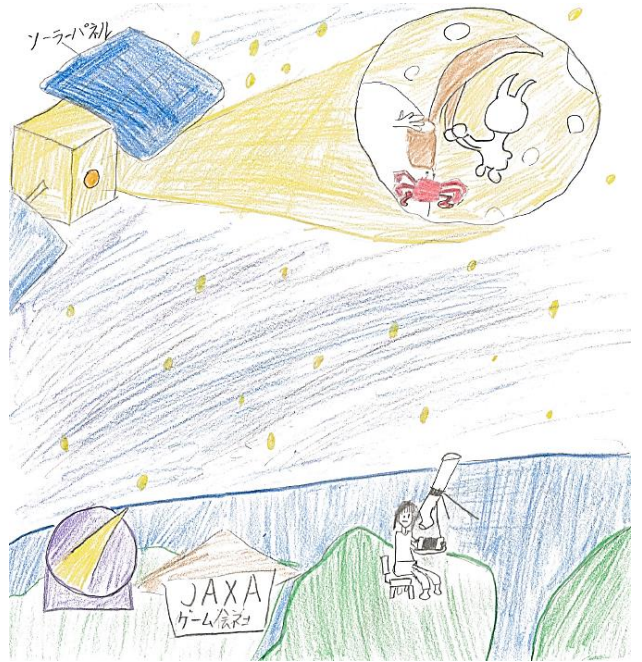
「金沢の新たな魅力を生み出す人工衛星」

奨励賞

月うさぎ 加藤 遼子 竹内 碧

小学校の部

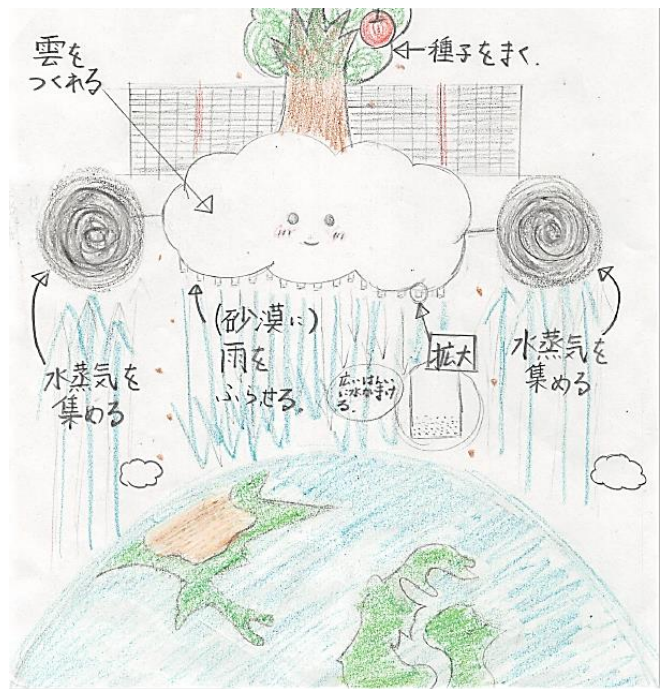
作品名 (衛星の名前)	月うさぎ
グループ名 (個人の場合は必要なし)	アポ
どうしてこの衛星を考えたの? (目的)	思いついたきっかけを教えてください。いつも月のうさぎはまわっているけど、もし月のうさぎが動いて、実際にもちつきをしたら面白いと思ったから。またそれを機に、星を見る人が増えたらいいなと思ったから。
この衛星は具体的にどんなことができますか? (効果)	この人工衛星で、どんなことができたり、分かたりしますか?人工衛星にレーザーを使ったプロジェクターが取り付けられて、月にもちつきをするうさぎを投影できる。月に投影されたゲーム画面はうさぎの目から、もちつきゲームがわかる。もちつきゲームでは、月のうさぎがきねを上げる間に、地球にいる人が手拭きのタイミングをコントローラーでそろえるゲーム。これすることで、宇宙が注目されて、宇宙に興味をもつてもらったり、星空を見たりする人が少しでも増えるといいなと思う。
工夫したところを教えてください。	工夫したところや自慢できるところはどこですか?かにかよきまじやまをまて、見えなくなるなど、ほかの国にある月の見え方のお話について述べて、どくしや光はつかっていないので、ゲームの様子や投影されたものは、たれでも見ることかできる。月の光る面積や、他の人工衛星のことも配りしなから、日時を決めて月に投影する。ゲームに参加したい人は、あらかじめたほし、その中からうかつてんで望まれた人は予約をする。



奨励賞

砂漠ゼロ 道林 瑠依

作品名 (衛星の名前)	砂漠ゼロ
グループ名 (個人の場合は必要なし)	
どうしてこの衛星を考えたの? (目的)	思いついたきっかけを教えてください。地球の砂漠がなくなつて、緑かたくさんあったら...なと思ったから。
この衛星は具体的にどんなことができますか? (効果)	この人工衛星で、どんなことができたり、分かたりしますか?水蒸気を集めて、砂漠に雨をふらせる。そして、植物の種子をまき、砂漠を砂漠ではない、別のものにする。
工夫したところを教えてください。	工夫したところや自慢できるところはどこですか?雨をふらせるやつに細かい穴をあけて、広いはんに水かまけるようにした。見た目をかわいくした。



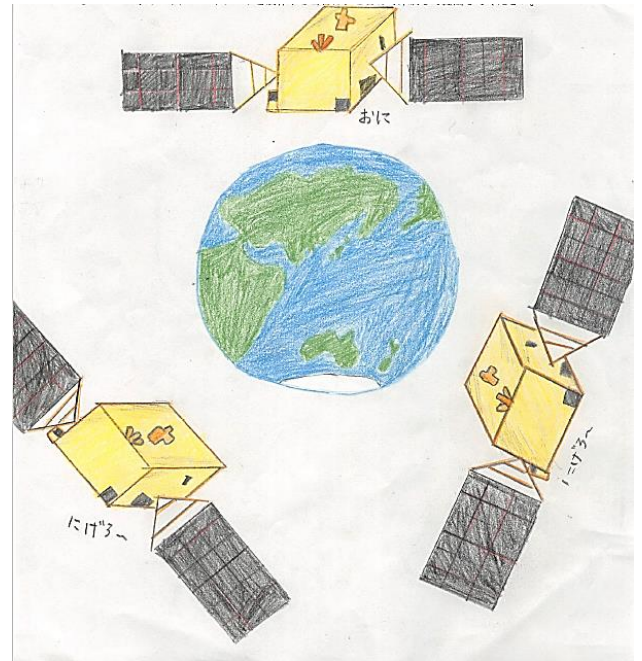
奨励賞

小学校の部

おにごっこ衛星

田中 咲樹

作品名 (衛星の名前)	おにごっこ衛星
グループ名 (個人の場合は必要なし)	
どうしてこの衛星を考えたの? (目的)	思いついたきっかけを教えてください。 人工衛星は、日本など世界の暮らしでも必要です。人工衛星は、真面目な仕事ばかりたくさんしていて、楽しい事が少ないと思っておにごっこを思いつきました。
この衛星は具体的にどんなことができますか? (効果)	この人工衛星で、どんなことができたり、分かったりしますか? 地球のまわりをおにごっこをして、楽しみながら、いつも通り、天気などをみます。はやくまわったり、ゆっくりまわったりするために、おにごっこで訓練をします。
工夫したところを教えてください。	工夫したところや自慢できるところはどこですか? 3つのぼうの色が、おにの人は赤、にげる人はオレンジにしたところです。ただおにごっこをするだけでなく、いつもと同じ仕事をしながら、おにごっこをしてもいいし、しなくてもいい、それが工夫です。



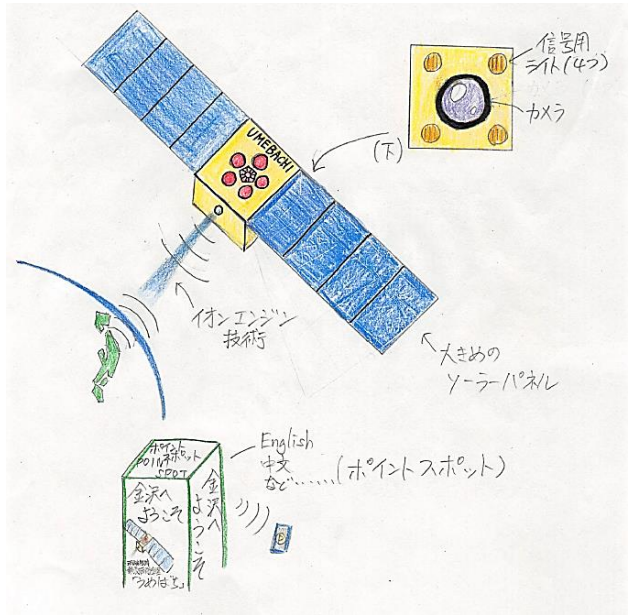
中学校・高等学校の部

最優秀賞

可視光陸域観測技術衛星 「うめばち」

宮倉 大典

作品名 (衛星の名前)	可視光陸域観測技術衛星 「うめばち」
グループ名 (個人の場合は必要なし)	
なぜこの衛星にしようと思ったか？ (目的)	この衛星を考えたきっかけは？ 宇宙から撮った写真を綺麗だと思ったので、それをもっと身近なものにして沢山の人が見てもらいたいと感じたので、地球を観測する衛星にしました。宇宙とやりとりするフロンティアを通して、宇宙や金沢の魅力を感じられるような人工衛星にしました。
この衛星はどのようにして新たな魅力を生み出しますか？ (効果)	産業？町おこし？通信？エンターテイメント？ 等 日本上空では、宇宙から見た金沢の夜景などを超高精細度でリアル配信します。又、スマートフォンなどを通して、金沢の名所に設置したポイントスポットに「うめばち」の見える時間に行くとポイントがたまります。ポイントに応じて商品と交換できます。全てのエリアを制覇すると、自動的に応募画面が表示されます。抽選に当たると、メール送信のおかげで、夢の言葉が「都金沢上空で「うめばち」のライトが点滅します。さらに「うめばち」にはAIを搭載し、作られたと判断した瞬間に写真も撮り、命の星、地球の美しさなどを一般公開し、魅力を伝えます。
この衛星の自分なりの工夫点、自慢できるところはどこですか。	解像度を上げるために、「うめばち」の技術を生かし、超低高度で飛行するようにしました。歴史と宇宙(未来)を融合させるプロジェクトなので、他にはない、新たな魅力を生み出せると思います。フロンティアでも自宅で美しい地球の写真を見て元気になる、とほいです。

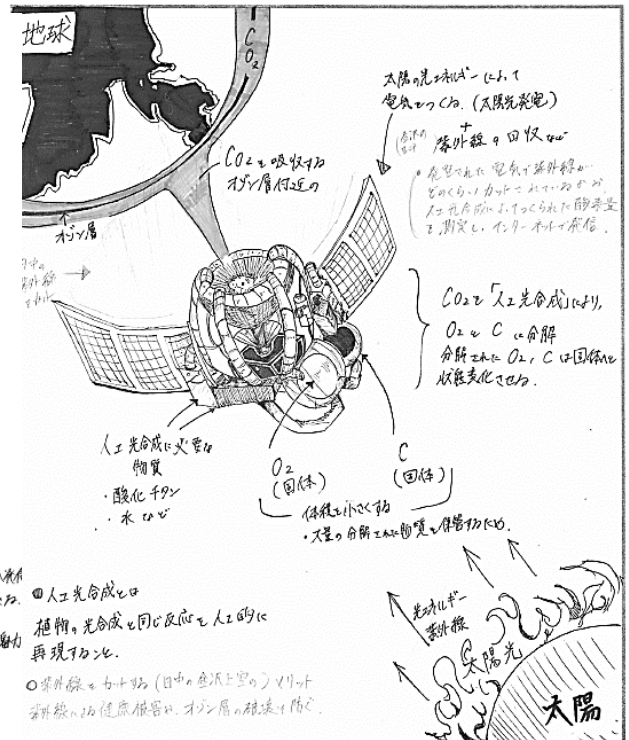


優秀賞

環境破壊を防ぐ人工衛星 「Yukizuri」

宮田 心

作品名 (衛星の名前)	環境破壊を防ぐ人工衛星 「Yukizuri」
氏名・学校名・学年	宮田 心
加入している団体名	(日本宇宙少年団・科学クラブ・金沢宇宙塾など、学校以外で入っているものがあれば書いてください)
なぜこの衛星にしようと思ったか？ (目的)	この衛星を考えたきっかけは？ 最近、地球温暖化による影響(海面の上昇、気温の上昇、台風が増加)が心配なため、持続可能な社会を目指すには、この問題を解決する必要がある、と考えるから。
この衛星はどのようにして新たな魅力を生み出しますか？ (効果)	産業？町おこし？通信？エンターテイメント？ 等 <ul style="list-style-type: none"> 人工光合成の実現 <ul style="list-style-type: none"> ↳ 化学的進歩 社会的貢献につながる <ul style="list-style-type: none"> ↳ 地球温暖化の解決に一歩近づく 町おこし → 金沢市の魅力をアピールし、その情報をインターネット上で発信し、金沢の魅力を伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ↳ 観光客の増加、金沢の魅力を伝える。 CO₂、O₂、Cの循環 <ul style="list-style-type: none"> ↳ 地球温暖化の解決に貢献
この衛星の自分なりの工夫点、自慢できるところはどこですか。	<ul style="list-style-type: none"> 人工光合成による 紫外線のカット



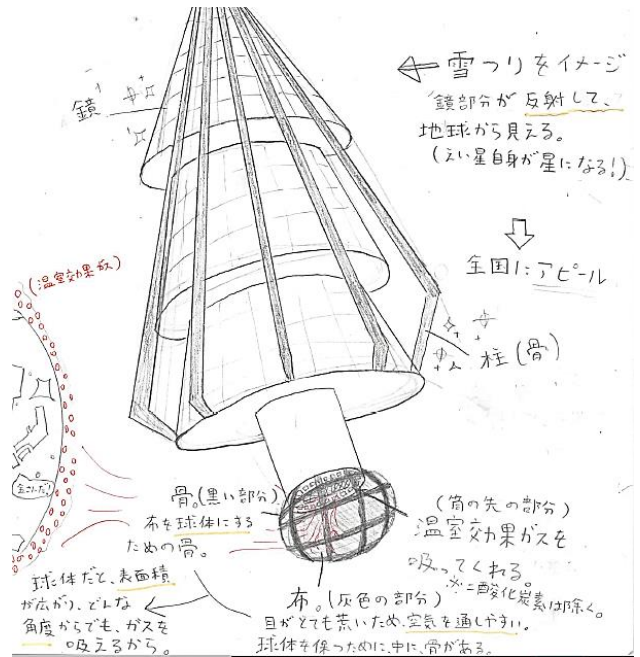
奨励賞

金さん

高嶋 桜

作品名 (衛星の名前)	人 玉さん
グループ名 (個人の場合は必要なし)	
なぜこの衛星にしようと思ったか? (目的)	この衛星を考えたいきっかけは? それは、学校の宿題だから。そこで、 金沢をアピールして、かつ便利なものは何だろうと考えたら、今問題になっている環境破れを少しでも抑えられるものにはしようと思った。 金沢をアピールするには、形や色だけ作っても地球からは見えないと思って、ここからでも金沢だ!と分かるものにした方が良さそうだったので、考えてみた。
この衛星はどのようにして新たな魅力を生み出しますか? (効果)	産業?町おこし?通信?エンターテイメント? 等 町おこしと環境を守ること。 まず見た目が金沢の冬の名物である雪割りをイメージして、丈夫な金錠が全体についているので、太陽光を反射して、ここからアピールできるように見えるようになる。 →町おこし そして、温室効果ガス(=酸化炭素を除去)を吸って、それによって地球温暖化の進行を抑制してやる。 (=酸化炭素は植物に必要なので吸わない) →環境
この衛星の自分なりの工夫点、自慢できるところはどこですか。	それと造り。 分かります、言いやすい名前なので、みんなに覚えてもらいたい。 玉、とその名物の一つ(金)が、かうと、名前。 どんな角度でもガスを吸える造りになっている。(地球に垂直に木の先が向いていない限り)。 ここから見えるようにしている。

中学校・高等学校の部

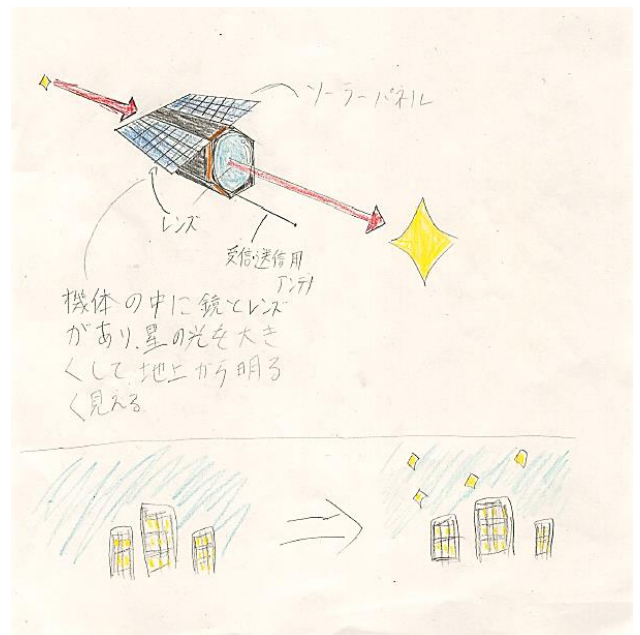


奨励賞

光星増幅衛星 あげは

高橋 勇虎

作品名 (衛星の名前)	光量増幅衛星 あげは <small>スターアンプ衛星</small>
グループ名 (個人の場合は必要なし)	
なぜこの衛星にしようと思ったか? (目的)	この衛星を考えたいきっかけは? 打山に星を見に行たとき、金沢が明るくて、星が見にくかったので、星の光を大きくして、明るくても見えるように木作いりたと思って考えました。
この衛星はどのようにして新たな魅力を生み出しますか? (効果)	産業?町おこし?通信?エンターテイメント? 等 金沢を「星の見える都会」にし、衛星にある鏡とレンズをとおして星の光を強くします。
この衛星の自分なりの工夫点、自慢できるところはどこですか。	星を見る時にいまにならぬ、光を吸収する黒色を選びました。



宇宙絵画作品部門

募集テーマ

【小学校 1 ～ 3 年生】

「思いっきり遊びたい！」

さあ、今日は宇宙で何して遊ぼう！！」

最優秀賞

火星でおたから発見！！ 原 ありさ



優秀賞

とびだせうちゅうへ 村谷 和



奨励賞

天の川で星の魚釣り 藤部 七蔓

